

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 10

2017 No.757

3 はじめの言葉

4 総選挙での意思表示で

考えてみたい国家戦略論

田原文夫

近隣周辺国の軍事的挑発行為が多発している。我が国上空をミサイルが飛び越える事態にもなっている。専守防衛に徹し、他国への軍事的圧力をかけないとしてきた戦後 70 年余を経た結果である。だからこうした周辺隣国の動向を考慮して、それに対抗する軍事的備え、国の体制を改めるべきだと考える安倍首相が、自衛隊を合憲化する改憲の狙いを込めて衆院の解散総選挙に打って出た。果たして、ここで改憲をすることが国家戦略として是か非か、少なくとも効果的かどうかの判断は難しい。先の総選挙で大勝し、絶対多数を確保したことを背景に、特定秘密保護法、安全保障関連法、共謀罪など、いずれも国民投票案件と思われる法案の強行採決をしてきた安倍政権である。少なくとも、国民の信を問うべき重要案件を強行突破可決してきたのも、改憲に向けての体制固めという狙いだったのだろう。国家戦略とはどうあるべきか依然に、戦略について考えることが苦手で、議論することすら回避してきた日本国民にとって、提示された案件にどういう決断をするべきか、その意思決定は容易ではない。改めて、戦略について、国家戦略について考えてみたい。

10 情報社会を考える その85

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

介護福祉用具展示会に2万点出展

9月27日から29日にかけて東京ビッグサイトにて福祉用具展示会が開催された。国内業者だけでなく、海外からの出展社も多く、15ヶ国1地域の527社・団体の最新の福祉機器／製品20,000点が展示された。居宅内の身近な介護用具からベッドなど生活品質を向上させる生活用品から、各種車椅子の移動支援用品、さらには重度障がい者向けのベッド、訪問型入浴介助製品など高レベルの各種福祉用具が会場狭しと展示されていた。自動車メーカー各社による移動支援車両の展示も賑やかだった。

12 オープンガバメント OG 46

情報社会をすすめる

その80

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中

で起こっていた。そこで、CALIS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念（言葉）で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (78)

EA 評価指標

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

今回は、EAに関連する評価指標として、① EAメトリクス、② ITケイパビリティ、③ IT-CMF、④ EAプロセス成熟度、⑤ COBITのIT BSC、⑥ CGEIT、⑦ ITプロジェクト監査保証フレームワークを説明する。はじめに、評価指標の目的と分類を整理しよう。

2 9 新連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第1回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 6 IT 新時代とパラダイム・シフト

第95回 世界が目にする医療 AI における

IBM の Watson の実態

根本忠明

我が国でも、医療 AI への関心が高まっている。その最大の功労者は IBM の Watson であろう。医療 AI 先進国をめざす韓国では、多くの医療機関が Watson を導入している。しかし、医療 AI や Watson は、医療現場でどの程度活用されているのであろうか。コンピュータや情報技術の歴史の教訓では、新技術への過剰な期待を抱かせ、それに見合う実績を達成できなかった場合、大きな代償を払わされる。今回は、医療 AI における IBM の Watson の実態について、最新のマスコミ報道をチェックして報告することにしたい。

3 9 続インテリジェンスへのいざない 93

乏しい政党メッセージから適切なインテリジェンスを 今井 武

野党勢力の脆弱性だけを突いた電撃的な解散劇で揺れている。しかし、相手側の弱さだけを頼りに勝利したとしても、それは国民の信任を得たことにはならない。そんな解り切ったことすら配慮できない責任政党の安倍首相のお粗末さが目立っている。消費税の使い道を変えることの信を問いたいと言う。お粗末さ、姑息さだけが目立つ。

4 2 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介致します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円+税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井 義典 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとホスト・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A6版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A6版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM/KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシナリ研究会の歩み	第十二章 メールが漏れない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったOodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2016年度の事業計画	第十八章 せわしりま「リサーチ」作成にあたってのメモ
第九章 情報セキュリティ研究の歩みと課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A6版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成長野原
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A6版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方程式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円+税 送料(〒300)
A5版 220頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れ文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向送信	■ 守るも求めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例集」
■ 記事の材料(ネタ)と発掘のテクニック	<付> 広報とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円+税 送料(〒300)
A5版 260頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな志士
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバトンタッチ
第六章 日本プロジェクトチームの歩み	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番直前日曜
第八章 米軍チーム立ち上がりの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大昔な話、英米二国間コミュニケーション	第十九章 離別の一 直前、離れ、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、帰となる三人組	第二十章 離別の一 安宅隆雄と北米センター専攻

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp